



おおぐち しろう
大口司郎 議員
OGUCHI Shiro

Q. 久田良木川排水機場について

A. 今後も周知に努める

第2回定例会の久田良木川排水機場性能の質問に対する答弁、説明が一貫していないように感じたので改めて伺う。

Q 排水機場の性能は10年に1回程度発生する降雨とのことだったが、東海豪雨の場合はどうだったのか。

A 産業建設部長
東海豪雨の雨の量は、1時間に97ミリである。

Q 北部市場周辺の浸水の深さはどれくらいか。東海豪雨を想定した場合はどうか。

A 産業建設部長
10年に1回程度発生する降雨では、床上浸水被害は解消される。東海豪雨の想定は不明。

Q 排水機場の完成までの5年間の空白期間の浸水想定は。

A 産業建設部長
北側と東側で50センチから1メートル程。

Q 応援協定の、小牧市などの仕組みを説明願いたい。名古屋市との協定を急いだ事情はどんなことなのか。

A 企画調整部長
応援の要請を書面で提出することとしている。名古屋市との協定は、施設などに限りがあるため。

Q 豊山町の住民などが安全に北部市場に避難できると考えているのか。

安全なら名古屋市民も北部市場へも避難するようにすれば良いのでは。

A 企画調整部長
名古屋市の協定で北部市場などの施設が加わった。今後、より分かりやすい周知に努める。

Q. 中学校の体育館空調について

A. 避難生活の支援に取り組む

令和5年の施政方針において、災害時対応のため豊山中学校の体育館の空調工事の設計を実施したが、工事は予算化されなかった。

町民は南海トラフ巨大地震に大きな不安を抱いている。

Q 現在、工事はどのように考えているか。

臨空第2公園のアリーナとの関連はどうか。災害時の避難収容人数はどうか。
また、社会教育センターアリーナはどうか。

A 教育委員会事務局長
中学校への空調設置の実施時期については現在検討している。

社会教育センターのアリーナについても対応を検討する。

A 企画調整部長
中学校の空調を整備して

いくことが望ましい。また、避難の想定収容人数は500人。

Q 巨大地震だけでなく、台風などの対応のための豊山町民の避難先の環境を充実させる必要があるのではないのか。

A 企画調整部長
議員ご指摘のとおり、避難所における良好な生活環境の確保、避難生活に対する支援の強化に向けて取り組む。